

「植物の謎」に答えます

2006年1月、「植物生理学学会サイエンスアドバイザーを委嘱します」と云う委嘱状を当時の学会長から受け取った。日本植物生理学会ではホームページに質問コーナーを設け、一般の方から植物についての質問を受け付け、それに答えるという活動を行っているが、サイエンスアドバイザーとは、このコーナーに寄せられた質問に答えを用意する係の名である。定年

緑のエッセイ



で退職し時間に余裕ができた者5名が委嘱された。

質問は小中学生、高校生、大学生、高校の先生、主婦、たまにはあるが植木屋さん。質問はまず学会の広報委員長が受け取り、アドバイザーの専門を考え、受け取った質問を割り振る。私に割り振られた質問が、図書館などで調べて答えられる場合は自分で答えるが、答えられないことが多く、学会の会員で答えてくれる方々に回答をお願いする。学会の年会などで

研究発表を聞くと、現役時代は自分の研究に役立てようと云う気持ちで聞いていたが、今では質問に答えてくれそうな人を探すために聞いている。嬉しいことに今までお願いした方に断られたことはない。

私の所には小中学生からの質問が割り振られているような気がしている。小学生の質問の中には夏休みの宿題に関するものが多く、夏休みの終わりに集中している。そんな質問の中には、自分で見れば分かる様なものも含まれてお

り、「自分で見てご覧。」などと答えることもある。勿論、宿題とは関係のない本当に自分で感じた疑問をぶつけてくるものもある。そんな疑問の中には私が中学生時代に抱いた疑問に近いものもあり、ドキリとさせられる。正直に「私もそれが知りたくて植物学の世界に入ったが、いまだに答えが出せません。あなたに期待しています。」などと答えている。頂いた質問とそれに対する回答はホームページに載せてあるが、そのQ & Aを見た講談

社がその中のいくつかを選んで出版したいと言いつつ、アドバイザーが編集の手伝いをし、「これでナットク!植物の謎」(講談社Blue Backs…2007年)が出版された。その後も、Q & Aはどんどん増え、2013年には「Part 2」も出版された。Part 2の出版に刺激され、Part 1の売れ行きも伸び、版を重ねる運びになったようで、嬉しい限りである。

質問コーナーは質問が来て初めて成り立つも

●プロフィール

- 昭和9年1月21日 東京に生まれる
- 昭和36年 東京大学大学院生物系研究科博士課程修了
- 昭和56年 大阪大学理学部教授
- 平成4年 植物化学調節学会賞
- 平成6年 アメリカ植物生理学会 客員会員
- 平成8年 日本植物生理学会会長
- 平成9年 国際植物生長調節学会賞
- 平成17年 南方熊楠賞
- 平成17年 日本植物学会学会賞大賞
- 平成23年 日本植物生理学会功績賞
- 平成26年 みどりの学術賞

なので、質問コーナーの宣伝にも努めている。山歩きが好きなので週に一度は山歩きをしているが、学会のホームページのメールアドレスを印刷した名刺を用意し、山で会った植物好きに配っている。その効果があり、名刺を差し上げた方から質問を頂いたこともある。

前出の委嘱状だが、委嘱期間は「2006年1月1日〜」となっており、同意書にサインしてしまっただけに思うので、嫌になっても辞める訳にはいかない。